

提出順	3	発言順	5	令和 5 年 11 月 27 日
				午前 午後 9 時 37 分受領

(3 枚中No.1)

令和 5 年 11 月 27 日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

会 派 名 _____ 会派 きぼう

安曇野市議会議員 竹 内 秀太郎

代表質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5 年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 25 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	市長の施政方針等について 市長のスローガンである「住みたい安曇野住んでよかった安曇野」 の実現について		
質問の要旨 (具体的に記載してください) 1. 市長就任2年が過ぎた現在、スローガンの実現という視点で見た時の評価について 2. 任期後半の2年間スローガンの実現に向けて、何を重点に取り組まれるか 3. その財源として、国の最悪の財政状態を考えたとき交付金措置率低減に備えた対応策について			

提出順	3	発言順	5	令和 5 年 11 月 27 日
				(午前) 午後 9 時 37 分受領

(3 枚中No.2)

令和 5 年 11 月 27 日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

会 派 名 会派 きぼう

安曇野市議会議員 竹 内 秀太郎

代表質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	市長の施政方針等について 本市の財政状況と課題について		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

- 歳入について、最近の実態と傾向及び自主財源比率と依存財源について
- 歳出について、義務的経費の割合と最近の傾向。義務的経費を自主財源で賄える割合
- 太田市長になって市債や公債費のピークはどう変わったか、そして、公債費増加への対応について、また、臨時財政対策債の動向
- 財政力指数の数値と傾向。平成 20 年から右肩下がりが続いているが、松本市、塩尻市はそうではない、この違いは何が原因か、政策の違いはないだろうか。財政力指数が 1 を下回る財源不足は交付税で賄えるが、国の財政悪化による措置率低減に備える必要性和その対応を伺う。
- 本市財政状況の課題について
 - 「住みたい安曇野 住んでよかった安曇野」を実現するために残りの任期 2 年で、何を重点にして、いくら予算で実施されるのか
 - 家屋の固定資産税増加を目指して、リニューアル不可能な空き家の敷地の宅地造成制度の創設や土地利用計画の見直しを行い、住宅の造成を推進して市税の増加を図る。
 - 義務的経費の見直しを行い、自主財源でほぼ賄えるように努める。
 - 右肩下がりが続く財政力指数に歯止めをかけるため、指数を高める施策の重点的実施
 - 旧合併特例債が終了する令和 8 年以降に予定されるハード事業とその財源確保について

